

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)わかさ神田	階数	地上3F
建設地	大阪府東大阪市神田町148番2	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域	平均居住人員	50人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 予定	評価の実施日	2016年9月26日
敷地面積	1,230㎡	作成者	株式会社大和設計室内本智之
建築面積	708㎡	確認日	2016年9月28日
延床面積	2,098㎡	確認者	大和設計室菅野兵治

本図を右クリックし、「図の複製」を選択していただくことで、各種図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 82% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 82% (46 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 82% (46 kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

音環境	2.6
温熱環境	2.6
光・視環境	3.3
空気質環境	4.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

機能性	3.4
耐用性	2.9
対応性	2.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

水資源	3.0
非再生材料の	2.9
汚染物質	4.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.7
地域環境	2.5
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他
付近の街並みに調和するデザイン、色彩としている。また老人が快適に生活できること及び効率的な介護ができるよう考慮し設計した。	注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 居室間仕切りを全て上階スラブ下に到達する耐火間仕切としており防音効果も併せ持っている。屋外に面するガラスにペアガラスを採用し室内温度変化の軽減を考慮している。	Q2 サービス性能 居住者の利用空間をバリアフリー法に基づいた設計としておりまた職員の導線も単純なものとしている。
Q3 室外環境(敷地内) 緑地を敷地境界部分に配置し隣接住宅との緩衝地帯としている。	LR2 資源・マテリアル 内装材にエコマーク取得品を採用している。
LR1 エネルギー 空調機、照明器具等省エネ対応品を採用している。	LR3 敷地外環境 近隣住宅状況を考慮し屋上機械置場の位置を決定している。また光漏れを考慮し照明が終日点灯している階段室に窓を設けていない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0098

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)わかかさ神田					
	建設地	東大阪市神田町148番2					
	用途/区分	病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊 3.0	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				